

2007年7月16日新潟県中越沖地震 8月1日報告

土井希祐, 南部正樹, 齋藤健, 日浦祐介(新潟大学)

8月2日に行った鉄骨造建物の被害調査について概要を報告する。

7:15 新潟大学発～(国道402号線, 国道352号線, 県道373号線, 県道279号線, 国道116号線, 国道8号線等経由)～ 柏崎市内

1. 作業所兼共同住宅

鉄骨造2階建。桁行方向ブレース構造, 梁間方向ラーメン構造。桁行方向4 m×6 スパン, 梁間方向6 m×1 スパン。桁行方向1階は5カ所, 2階は2カ所にブレースを確認。柱はH-250×125×6×9, ベースプレートPL-280×350×12(+PL9), アンカーボルト4-M16, 丸鋼ターンバックルブレース19φ, 羽子板, ガセットプレートともPL-9, ボルト1-M19, 端あき30mm。1階ブレースに2カ所羽子板ボルト孔欠損部の破断, 柱脚部鉄筋コンクリート柱型破壊, および建物傾斜を確認。外壁, および軒裏仕上げ材の脱落あり。(写真1-1～1-9 参照)。

(県道11号線, 県道152号線等経由)～ 柏崎市内建物調査 ～(国道8号線, 国道116号線経由)～ 刈羽村内建物調査 ～(県道369号線経由)～ 17:00 柏崎市立高浜小学校

2. 高浜小学校体育館

鉄骨造平屋建, 桁行方向5 スパン, 梁間方向1 スパン。崖地際に建つ。桁行方向はブレース構造(外壁仕上げ材に覆われカ所数は確認できず), 梁間方向はトラス形式ラーメン構造, 屋根はゲビオン形式である。1964年12月建築。崖側の基礎が沈下しつつ水平方向に移動したことにより, 崖側の床が傾斜し, 壁仕上げ材と床の間に隙間を生じていた。また, 崖と反対側の軸組ブレースが1カ所座屈し, 外壁仕上げ材を破っており, さらに柱脚の鉄筋コンクリート柱型にせん断破壊を生じていた。(写真2-1～2-9 参照)

17:40 高浜小学校 ～(国道352号線, 県道279号線, 県道373号線, 国道352号線, 国道402号線等経由)～ 19:20 新潟大学



写真1-1



写真1-2



写真1-3



写真1-4



写真1-5



写真1-6



写真1-7



写真1-8



写真1-9



写真2-1



写真2-2



写真2-3



写真2-4



写真2-5



写真2-6



写真2-7



写真2-8



写真2-9